会　議　録

名　　称		酒田市子ども・子育て会議（令和６年度第４回）
内　　容		○協議 （１）こども計画（案）について 〇報告 （１） 令和７年度主なこども・子育て支援事業について
日時・場所		令和７年３月 27 日（木曜）午前９時 58 分～11 時 16 分 酒田市役所 703 会議室
出席者	委　員	佐々木　由子委員、梅津　満希子委員、池田　祐子委員、齊藤　公乃委員、 佐藤　多紀子委員、宮田　浩一委員、五十嵐　勤委員、加藤　武雄委員、 佐藤　由夏委員、大滝　晋介委員、白畑　真由美委員、伊藤　直子委員、 髙橋　靖委員
	事務局	髙橋紀幸健康福祉部長、菅原智法教育委員会学校教育課指導主幹、村上環保育こども園課長、阿部美穂こども未来課長　ほか
会議の結果		別紙のとおり
配付資料		・次第 ・出欠席名簿 ・資料１　　酒田市こども計画（案） ・資料２　　酒田市こども計画（案）〔概要版〕 ・資料３　　こども未来ワークショップ参加者意見の計画（案）への位置づけ ・資料４　　意見公募（パブリックコメント）提出意見及び本市の考え方 ・資料４　　意見公募（パブリックコメント）提出意見及び本市の考え方（追加分） ・資料５－１令和７年度主なこども・子育て支援事業について（こども未来課） ・資料５－２令和７年度主なこども・子育て支援事業について（保育こども園課） ・資料５－３令和７年度主なこども・子育て支援事業について（学校教育課）

酒田市子ども・子育て会議（令和６年度第４回）

日時：令和７年３月 27 日（木曜）
午前９時 58 分～11 時 16 分
場所：酒田市役所 703 会議室

～　１　開　会　～

〇こども未来課土門課長補佐

定刻までまだ時間がございますが、皆様おそろいでございます。本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。暫時の間進行を務めさせていただきます、こども未来課課長補佐の土門と申します。本日欠席の委員のご報告から申し上げます。酒田飽海ＰＴＡ連合会、丸藤学様。若浜保育園保護者会、佐藤卓様。酒田地区私立幼稚園・認定こども園ＰＴＡ連合会、岸田孝之様。酒田特別支援学校ＰＴＡ、髙橋幸宏様。公募委員、佐藤真紀様。酒田市小学校長会、鈴木久美子様。連合山形酒田飽海地域協議会、鈴木渉様。以上７名の委員の皆様より、欠席の連絡をあらかじめ頂戴しております。本日は、委員 20 名中 13 名のご出席をいただいております。酒田市子ども・子育て会議条例７条２項に定足数を定めてございますが、半数以上の出席を今日は満たしておりますので、会議を行えるということになります。

それでは、これより令和６年度第４回酒田市子ども・子育て会議を開催いたします。次第に従いまして進めさせていただきます。初めに健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。

～　２　健康福祉部長あいさつ　～

〇髙橋健康福祉部長

年度末のお忙しい中、会議にお越しいただきまして本当にありがとうございます。本会議につきましては、今年度新たに策定しておりますこども計画につきまして、皆様より過去３回ご審議をいただいているところでございます。このこども計画は、これまでは子ども・子育て支援事業計画という計画でしたけれども、今回こども基本法の制定、こども大綱の施行がございまして、それに従い計画のあり方を見直し、こども計画という形で新たに策定をすることになっております。今までの３回、皆様からご意見をいただく中で、前回は特に具体的な施策についてもご協議いただいたと思っております。皆様からいただいた意見をベースにしました案を作成して、パブリックコメントを行いまして市民の皆様からご意見をいただいたところです。それらを踏まえまして、今回こども計画の案という形でまとめさせていただいたものをご提示しまして、最終的な協議をさせていただきたいと思っております。今回皆様からご協議をいただき、ご理解いただけるようであれば、この内容について最終的

な判断を酒田市としてさせていただいて、来年度からこども計画を実施していきたいと思っております。

酒田市の新年度、来年度の予算を既に公表しておりますけれども、過去最大の 617 億円になります。600 億円を超えたというのは、酒田市として初めての予算規模になります。矢口市長は、３月定例会におきまして市政方針を述べておりますけれども、その一つとして、一人ひとりの活躍を大切にする共生社会の実現というものを表しております。その中で、すべてのこどもの可能性を開くことができる環境を整備し、こどもまんなか社会の実現を目指すということもお話しております。まさにこのこども計画というのは、本市におきまして、こどもまんなか社会を実現するための道標になっていくものと捉えております。目標の実現に向けて、その役割を果たす計画となりますように、皆様からもこの計画についてご理解、ご意見をいただければと思っております。本日のご協議、どうぞよろしくお願いいたします。

～　３　協　議　～

〇こども未来課土門課長補佐

（配付資料について確認）

では、これより議事に移ります。進行を白畑会長の方にお預けしたいと思います。会長よろしくお願いいたします。

〇白畑　真由美会長

本日は今年度最後の会議となります。委員の皆様からは、あらためまして忌憚のないご意見を頂戴しますとともに、ご不明の点はご質問いただきたいと思います。また、議事進行にご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

次第に沿いまして、３協議（１）こども計画（案）について、資料１から４に基づきまして、事務局から説明をお願いいたします。

〇こども未来課佐藤子育て支援主査兼子育て支援係長

（資料１～４により説明）

〇白畑　真由美会長

前回までのご意見を踏まえ、さまざま修正、変更などもございました。前回いろいろご意見をいただきましたが、今説明のあった内容について、何かご質問、ご意見などございましたら、委員の皆様からいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

最初に私から一つ。前回の議論でもあった情報発信のところで、きちんと文章化されているというのはいいなと思ったんですけれども、このこども計画そのものを、ホームページに出しただけではきっと見てもらえないと思うので、いかに市民の皆さんに新しいこども計画ができたんだよということを発信するための、何かプレスですとか報道とか、あるいは保育園とかこども園とか小学校とかいろんな機関に出向いて出前講座をするとか、何か今お

考えのことがございましたら、少し披露していただければと思います。

○阿部こども未来課長

いま具体的にプレスリリースまでは考えていなかったんですけれども、やはりこども計画、こういうものができたよというところはお知らせしなきゃいけないと思っておりますので、できれば出前講座などのメニューに入れて説明をさせていただきたいと思っております。

○白畑　真由美会長

各園やこども園にも、できたよというような何かフライヤーなどを作って掲示していただくというのもありなのかなと思いますし、子育て支援センターや学童保育所でも、そういうのができたというのを見るだけでも、少し関心を向けてもらえると思います。ほかにも、コミュニティセンターなど、二次元コードをつけて、ここで見れるよといった形になると、より身近に感じてもらえるかなと思います。

そのほか委員の皆様から、これだけは言っておきたいということは、特にないですか。必要なことは網羅されていますでしょうか。

○梅津　満希子委員

65 ページの表で、学童のことですが、一番下の潜在的待機児童も含めた需要数というのは、申し込んだけれど入れないとか、そういったことも含めての児童数ということでしょうか。

○村上保育こども園課長

これについては、登録者数の見込みと潜在的待機児童を含めた児童数は同数になっているんですけれども、提供量からすると、需要と供給のギャップというところが、7 年度でいうと 20 出ているというところです。今おっしゃったその待機児童も含め、また遠慮して実際には登録をしないという方も含めてという意味合いで、数字を出させていただいております。

○梅津　満希子委員

こちらの方でもそういったお話は、過去にもさせていただいているのですが、前にもお話したように、1 年生から申し込みがあった場合に、その子を家に一人置くわけにはいかないので、上のお子さんたちに待機をお願いしているような状況です。それが毎年続くとなると、遠慮してくださる方もいる中で、やはり 4、5、6 年生でも、家庭環境や状況が違うので、実は昨日「兄弟で 1 年生は今年入れるけれども、4 年生になったこどもは入れないということで、こういった子はどうしたらいいんですかね」という相談の電話が事務局にありました。通常学童に 1 年生は、1 年生全体の 50～80％入所してくるのですが、小学校のように地域に何人だから何人入るということが事前にはわからなくて、開けてみて初めて 80％以上だったとなると、どうしても予想以上に上のお子さんをお断りするという形ができてしまい

ます。これからの酒田市の児童数を考えると、11 年度ごろまでは学童によってはそういうお子さんがいることが考えられます。本来は１年生から見たお子さんがその学童で成長して、上の学年になった時に全体を見てくれる形をつくりあげようと日々保育していると思うので、それが切られてしまうことは職員にとっても本当に本意ではないのですが、そのことができないという状況が出てきてしまいます。やはり上級生でも、うちの子は心配だという方がいらっしゃるのも、昨日の電話で切実に感じたので、そういったお子さんの居場所が必要なのかなというところもあり、学童保育では学童の単位を 40 人にしていこうという中で大変難しく、すぐにはどうしたらいいのかわかないのですが、待機のお子さんの親御さんも安心していられる場所が、ここ何年間は必要なのかなと思いました。

〇白畑　真由美会長

ご意見として踏まえつつ、先ほど不登校の対応を追加した、充実させたということもありましたけれども、やはりこどもの居場所づくりについても、第３の居場所、サードプレイスということも含めて、こども家庭庁も指針を作っているので、放課後のこどもの居場所だけでなく、いろんなこどもたちの居場所づくりの検討が、この計画の中で少し進んでいくといいのかなと思っています。いろんな機関の皆様のお力を借りないと、市だけでは進めることはできないと思うので、その点も委員の皆様にご承知おきいただければと思います。

〇大滝　晋介委員

44 ページの 133 番ですが、３か月、１歳６か月、３歳児というふうに出ていますけれども、１か月健診を今年から補助を出してやるようになりました。１か月児というのは入れなくていいんでしょうか。

〇阿部こども未来課長

１か月健診について、健康課と調整して入れる方向で考えたいと思います。抜けていました。申し訳ございません。

〇池田　祐子委員

資料４の 18 番のインクルーシブ遊具についてですけれども、別に宣伝でも何でもないんですが、うちのうえだこども園ですが、隣に上田コミュニティセンターがあります。そこの後ろに大きな築山がありまして、そこは酒田市の土地なんですけれども、とても大きな山で、鳥海山も見えていいところですので、そこに園の方でインクルーシブ遊具を２つほど設置しました。大きなブランコ、誰でも乗れる網状になっているブランコと、それからシーソーのちょっと変化系ということで、ガタンとならない、どんなお子さんでも乗れるシーソーというのがあります。なかなかその辺が広く皆さんに知られてはいないし、そんなにたくさんはないんですけれども、コミセンの裏にあるので、園に１回ずつ断ることもなくコミセンの駐車場に停めてもらって、いつ誰が遊んでもらってもいいようになっているので、利用したいような人がいるのであれば、いつでも遊びに来ていただいければと思います。

〇阿部こども未来課長

ぜひ何かにつけてＰＲさせていただいます。私も写真は見せていただいていて、現地にはまで行っていないですが、多くの方に利用していただきたいと思っています。

〇大滝　晋介委員

これはちょっとずれるかもしれないんですが、35 ページの健やかな身体の育成というところで、スポーツ教室や指導者の育成とありますが、先日光ケ丘国体記念テニスコートの上にあるラグビー場、サッカー場でこどもたちが使うんですが、照明が壊れていました。漏電で照明が壊れているので、夜間の照明がつかない。市の方に言ったら、予算がないので直せないというようなことを言われまして、実際に光ケ丘テニスコートの方も照明が何基か壊れていて使えないコートがあるんですね。ラグビー場の方は、サッカーのスポ少みたいなので利用していたり、社会人がやっていたりということで結構利用は多いんですが、夜間照明がつかないということで、さてどうしたものかというような相談をちょっと受けたんですね。ですから、やはりこういうことを謳っている以上、スポーツ施設というか、そういうところの整備、そういうものをもうちょっと現状を見ていただいて、もう予算は決まってしまったので仕方がないところもあるかもしれないんですけれど、僕に言ってきた人は、それこそもう今流行りのネットで募金を募るようなそういうのもやらないとだめかなあというようなことも言っていたので、そういったスポーツ施設の点検と、不具合をお金がないから直せないというのではなくて、少しそちらの方にも力を入れていただければいいかなと思います。

〇髙橋健康福祉部長

おっしゃる通り、酒田市では特に施設に関しての修理などが少し遅れているというのは事実だと思っております。やはり現実的には、施設の数が非常に多いこと。それから、建設建築、整備した時期が、実は合併前からのものが非常に多くあって、それらの整理が進んでないこともありまして、後手になってしまっておりました。一昨年から、財政課にアセットマネジメントの専門部署も設置して、極端なことを言えば、今後残すべき施設、新たに整備する施設、場合によっては今後整理をしていくというものをまず内部で検討しているところでございます。ただ、現実問題は、利用者のことを考えますとその整理というのが一気にできないという部分もございます。というのは、今課題になっている部分も当然ありますので、今先生がおっしゃった通り、来年度はスポーツ施設の修繕に関する予算も少し多くついている部分もございますけれども、今詳細の部分、光ケ丘テニスコートの奥のグラウンドの照明についているかどうかは確認できませんので、その辺を確認しまして、分かる範囲で後ほどご連絡差し上げたいと思います。申し訳ございません。

〇白畑　真由美会長

本当に利用者の声を、いろんな形で計画で反映できるといいかなと思ったところです。

また、もし思い出しましたら、その他のところでご意見を伺っていきたいと思います。では、こども計画案については、この案で、会議体としては合意をいただいたということで、

よろしいでしょうか。

○宮田　浩一委員

資料５ページに人口予測が載っておりますけども、短期と長期、我々は団塊の世代の前、昭和 21 年生まれなものですから、人口がどんどん増える世代で育った。まさかこんな時代が来るとは、夢にも思っておりませんでした。でも、これは現実なんだなと思いまして、それをもとにして、いろいろこの資料を見せてもらいましたけれども、16 ページの基本施策２、若者が酒田で生活や子育てをしたいと思う割合、これがプラス 1%。もう少し上がってもいいんじゃないかなと思って、私は期待しております。というのは、やはり家庭の中で、自分の生まれ育った地域社会をどう親がこどもに説明をしているのか、将来親と同居するしないを別にして、やはり地元に残って欲しいというような、そういう説明を家庭の中で親がしているのかどうか、この辺がこのパーセンテージに表れてきているんじゃないかなと考えております。以前、ある市会議員が議会で、郷土愛あるこどもたちの育成というので、どの地域でも人口減少が進む中、もう少し郷土の理解を深めるために、授業の中で地域の歴史を学ぶ、そういう提案をしまして、当時の教育長がそれを是非ともやっていきたいというような趣旨の答弁をしていました。私も、これの切り抜きを関連する組織のメンバーにも皆配付したわけでございますが、この中で特に 16 ページの高校生を対象にした幼児触れ合い体験とか、いろんな積極的な事例がここに成果として載っております。私も立場上、高校生との対話会を毎年やっておりまして、平成 27 年に酒田西高で同窓会館を使って、高校生とか酒田警察署とかいろんなメンバーから来てもらいまして、都合 60 人ほどで２年ほど続けてやりました。そのあと、学校関係者が高校生を引率する問題等で対応できないということで、各学校を対象にして、生徒会の皆さんを中心にいろんな意見交換をやっております。ところが、今感染者の関係でここ４～５年は紙面対話に終わっておりますけども、そんな中で、高校生からの提案で、この 40 ページに No.90「市長・若者カフェミーティングの実施など若者との意見交換を推進します」とありまして、新規事業として取り上げております。私は前からこういうをお願いをやっていきたいなと思って考えた話は、高校生もやはりアンケートの中ではもう少し若者の盛り上がる場所が欲しいとか、店舗の減少傾向の対応をして欲しいとか、いろんな積極的な物の見方をして、アンケートにいただいております。従いまして、是非ともこの No.90 につきましては、これから酒田の将来を担う高校生に対して、密度の濃いカフェミーティングを定期的に積極的にやっていただいて、若者の定住化、それから人口増へ少しでも繋がるような、そういう対応をとっていただければと考えておりました。一つ提案をさせていただきますので、ぜひよろしくお願いしたいと思います。

○阿部こども未来課長

この 90 番には、市長・若者カフェミーティングという事例を１つ出して、その他にも何か、こどもの意見を聞く場というものが設けられたらというところで、意見交換、こどもたちの意見を聴取する、意見を交換する、提案を聞くという活動をしていきたいと思っております。今のところ市長・若者カフェミーティングを実施しておりますけども、例えば、中高生を対象にした、生徒会などに話し掛けて市長・若者カフェミーティングを開催できないか

という話を、今はしているところでございまして、そのような形でこども・若者の意見を聞いていく取り組みをしていきたいと思っております。また、郷土愛の醸成については、今学校の授業等でも、総合学習の授業や、課題研究の取り組みなど、高校も含めてすごく一生懸命にしていると考えておりまして、その中では、自分たちの住むところを学ぶというところから始まって、課題を見つけてそれを解決するためにどうするかという取り組みを、それぞれの小学校、中学校、高校でやっていると考えております。そのようなものが、後々その郷土愛のところに結びついていくんだろうなと考えております。

〇白畑　真由美会長

この計画は作って終わりではなくて、実効性のあるものにしていくためにも、随時意見をいただきながらということなので、69・70 ページにあるように、本会議の中で、それぞれの現場の意見をまたフィードバックしていただきながら情報共有、意見交換をする形で、ＰＤＣＡサイクルを回していくという考え方でよろしかと思います。そういう意味で、新年度に委員が交代される機関もあるかもしれませんけれども、引き続きこの計画を皆さんでよりよいものにしていくという意識で、皆様からもご協力をいただければと思ったところです。もしなければ、次に進ませていただきたいと思います。

（2）として、その他、皆さまから何かこの計画に関してでもいいですし、その他のことでもいいです。何かございませんか。

〇佐藤　由夏委員

確認ですけれども、資料２に抜粋されています評価指標と目標数値の主なものの、計画終了時のパーセンテージというのは、前回の会議のときに出されている資料２の計画終了時の目標のことで、そこから変更はないということでよろしいでしょうか。

〇阿部こども未来課長

変更はございません。

〇白畑真由美会長

11 年度までの計画ですので、随時この評価指標も皆さんとともに確認しながら進めていければと思っております。その他として特にございませんでしょうか。では、案を取らせていただきまして、４報告に進ませていただきいと思います。

～　４　報　告　～

〇白畑真由美会長

報告事項として、（1）令和７年度主なこども・子育て支援事業について、資料５－１か

ら資料５－３により事務局から説明をお願いいたします。

○阿部こども未来課長

（資料５－１により説明）

○村上保育こども園課長

（資料５－２により説明）

○菅原学校教育課指導主幹

（資料５－３により説明）

○白畑真由美会長

ただいまご説明いただきました、令和７年度主なこども・子育て支援事業について、何かご意見、ご質問などございましたら、お受けしたいと思います。

皆さんお考えの最中に少し聞かせていただきたいんですが、こども未来課の資料５－１の（４）の一番下の行に書いてある電子版母子健康手帳の導入ですけれども、これは新規に母子手帳を交付される方だけが対象でしょうか。これまで既に交付されている、あるいは出産されている方はどうなりますでしょうか。

○阿部こども未来課長

既に出産されている方についても対象となりまして、私みたいにこどもが大きくなった人でも登録することができます。今予定している電子版母子手帳のメーカーでは、現在フリーで市町村関係なく自分でアプリを入れることもできます。ただ、酒田市が導入すると、郵便番号検索で酒田市版に切り替わる、酒田市で登録している方が酒田市版に登録が切り替わるような形になります。そうなりますと、酒田市からのお知らせなども届くという流れになります。また、こどもが大きくなった方でも、こどもの生年月日を入れると、例えば予防接種について、こういうのをこの期間でやらなきゃいけないというようなお知らせを見たりということもできます。あと、使い方として、例えば進学したお子さんもＩＤを共有できすることができて、同じ母子手帳を５人まで共有することができるので、ご夫婦でお子さんの成長の確認がこの電子版でできる、また、お子さんご自身が大学等に行った後に自分がどのような予防接種していたかを確認することもできる、そういうアプリになっております。

○白畑真由美会長

課題となっている情報発信が、これで拡充していくことを期待したいと思います。ぜひ小児科医の窓口などに貼れるようなポスターですとか、ＱＲコードを付けて作っていただくといいのかなと思いました。

学校教育課の資料５－３の（２）、新規の不登校支援メタバース活用事業ですけれども、管理者が誰になるのかというようなことと、そこの中での交流をどのようにフォローアップしていくのか。それから、確か１人１台端末になったときにＷｉ－Ｆｉ環境のない家庭の支

援をしていたかと思うのですが、そういう支援なども含めて、今後の見通しなど何か決まってらっしゃることがあればご教示いただきたいと思います。

〇菅原学校教育課指導主幹

まず、管理者ということですが、今年度そこに相談専門員を１名配置することになっております。その方が中心になりまして、もちろん指導主事であったり、教育相談室に３名の相談専門員がおりますので、そことも連携しながら運営管理にあたっていく予定であります。そこでの交流につきましては、まず行った時に誰もいないという状況だと逆に繋がることもできなくなりますので、最初は日数をあえて限定する形で、みんなが同時にそこに入れるような、そういったところから始める計画でおります。また、ふれあい教室に参加しているお子さんたちもいらっしゃるので、そういったこどもたちもそこでまた新たに、居場所として参加することができますし、そこでまた繋がるような活動なども計画しているところであります。Wi-Fi 環境につきましては、これは学校教育課で、ポケット Wi-Fi ルーターの貸し出しを行っております。ただ、通信費に関しては実費となってしまいますが、経済的に厳しいご家庭には就学援助などもありますので、そういったものも紹介しながら支援をしていきたいと考えております。

〇白畑真由美会長

県内でほかにやられているところは確かまだないように思いましたが、どうでしょうか。

〇菅原学校教育課指導主幹

県内では実施しているところはないかと思いますが、実は県でもメタバース空間を整備しているんですけれども、県の方は、イベント的な参加をメインとするようなものとなっております。酒田市としては、そこから１歩踏み込んで、ふれあい教室と連携するような形での実際の繋がり、こちらを主として構築していくものであります。

〇白畑真由美会長

ほかに皆さんから、何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。もしないようでしたら、ぜひこれらの事業についても周知、情報提供、情報発信について丁寧に対応していただきたいということを希望させていただきます。

もしほかにご質問、ご意見ないようでしたら、以上で予定されている議事としては、終了となりますが、よろしいでしょうか。委員の皆様には、会議の進行にご協力いただきましてありがとうございました。では、事務局に進行をお返しいたします。

～　５　その他　～

〇こども未来課土門課長補佐

それでは、事務局から最後にご連絡申し上げます。今年度は、今回が最後の会議となりま

す。令和７年度につきましては、現時点では開催の日程は未定でございます。近くなりましたら、改めて文書で皆様にご案内申し上げたいと思います。次に民間から代表としておいでいただいている皆様には、旅費及び報酬をお支払いいたします。封筒を机の上にあげてございまして、そちらに内訳書を入れてお配りしております。本日より３週間ぐらいの目途で、指定の口座に振り込ませていただく予定でございます。事務局からは、以上ご連絡でございます。ほかに案件のご用意がないようであれば、こちらの方で閉会させていただきます。よろしいでしょうか。

～　６　閉　会　～

〇こども未来課土門課長補佐

委員の皆様には長時間にわたりましてご協議いただき、ありがとうございました。８月から始まりまして、都合４回会議を開催させていただきました。これまで、計画の作成にご協力いただきましたことを、改めて事務局といたしまして感謝申し上げるところでございます。以上をもちまして、令和６年度第４回子ども・子育て会議を閉会いたします。